

子どもが 大人が 自治会のリーダーが
楽しみながら取り組む

防災活動



目指せ!! 円山の奇跡

円山地区自主防災連絡協議会では、地域の各種団体が主催するイベントに積極的に参画し防災啓蒙活動を行っています。その結果、他団体の防災意識の向上に寄与するとともに、団体のキーマンとのつながりも強化することができました。地区内の16自主防災会に対しては、多様性を前提とした柔軟な運営とネットワークづくりをお願いするとともに、画一的な防災訓練からの脱却と防災マップの作成を図ってきました。今後については、「今までに経験したことがない」とか「今回は特別なもの」というのではなく、通常の視点で災害に対応できるよう、防災力の向上に努めたいと考えています。



その1 防災マップ

防災マップ出前講座 2019.9.28

防災会役員・自治会役員・福祉関係役員等が集まり、ハザードマップの被害想定や災害時要援護者情報、避難時の危険箇所、消火栓、消火器配置場所など情報を共有し、自治会ごとに独自のマップを作成、全戸配布した。



標高
交通事故
発生箇所も
表示

災害時避難支援希望者宅や地域防災に役立つ人材の居住者宅の表示が議論になり、表示しないうことになった。

その2 防災出前講座

なごみ児童クラブ 2019.1.7

テーマ 防災シュミレーションゲーム



どんぐり児童館 2019.3.29

テーマ こんなとき、きみならどうする?



円山小学校宿泊学習 2019.8.28~29

テーマ 72時間生き残くサバイバル術



デイホームまどかサロン 2019.8.28~11.9

テーマ 皆さんの命を行政に委ねないでください



その3 防災研修

防災研修会 2019.3.9 3.23

テーマ 地震が起きた!何するの?



テーマ 非常時のご飯づくり



印象に残った言葉
*熊本地震では直接死より関連死が多いこと。
*地震のあと、余震があるから6時間は家に入らない。

その4 防災啓蒙活動

ふれあい祭り
防災啓蒙活動
2019.10.20



テレビから「緊急地震速報」が、こんな時、みんなならどうする。普及は対外的!正解者にはお茶プレゼント。
アマチュアクラブと一緒に、福井市消防団消防士と大分県消防団消防士と合同で訓練した。

その5 防災訓練

2019重点目標
2020.6.26



1.家庭の防災対策の普及促進
2.非常持ち出し袋の発行促進
3.避難経路の地味な「見える化」
4.被災被災等安否確認を徹底実施

参加者数
訓練参加:2,217人(参加率27%)
安否確認:3,844人(確認率47%)
非常持ち出し袋持参者:344人



はばたく 円山 一人ひとりが主人公
円山地区自主防災連絡協議会